

記 述

昭和十一年

茨城縣統計書第二編

學事ノ部

管内學事ノ狀況

總 說

本縣ニ於ケル學事施設ノ狀況ハ大體從來ノ方針ニ基キ施設經營ノ歩ヲ進メ之ガ發達
 進歩ヲ期シツ、アリト雖、時勢ノ推移ニ伴ヒ教育振興上尙改善ヲ必要トスル所アルヲ
 以テ初等教育、師範教育、實業教育、社會教育等夫々内容ノ刷新、充實ヲ圖リ其ノ實績ヲ收
 メムコトニ努メタリ即チ兒童ノ増加ニ伴ヒ地勢ノ事情ト市、町、村財政トヲ參酌シ教育
 資金ノ貸付、基本財産ノ繰入ニ夫々便宜ヲ與ヘ以テ校地ノ擴張、校舍ノ増改築、教授用器
 具、器械等ノ設備ノ改善充實ヲ圖リツ、アリ、又教員講習會、研究會、協議會ヲ開催シ教職
 員ノ素質ノ改善ト資格ノ向上、學力技能ノ修練トニ努メツ、アリ而シテ之ガ監督指導
 ヲ周到ナラシムル爲學事指導員ヲ囑託シ中等教育及初等教育ノ指導獎勵ニ當ラシメ
 尙教員俸給並年功加俸ノ増額、疾病療治料ノ給與、功勞者ノ表彰ヲ行ヒ教員優遇ノ實ヲ
 舉ゲムコトニ努メタリ

社會教育ノ普及發達ヲ圖ラムガ爲圖書館又ハ巡回文庫ノ設置ヲ獎勵シ展覽會、講話會
 講習會ヲ開催セシメ青年團ニ就キテハ國民精神作興ニ關スル詔書ノ御趣旨ヲ恪遵シ
 内務、文部兩大臣ノ訓令ニ基キ本縣ノ實狀ニ鑑ミ智徳ノ練磨ト體育向上トヲ圖リ日進
 ノ大勢ニ遅レザラムコトヲ期シツ、アリ尙青年教育ニ關シテハ從前ノ實業補習教育
 及青年ノ訓練ヲ融合シテ心身ノ鍛鍊及徳性ノ涵養ト職業其ノ他實際生活ニ須要ナル
 智識技能ノ修得ニ遺憾ナキヲ期シツ、アリ、少年團ニ於テハ常ニ學校職員指導ヲナシ
 火防宣傳、公德箱ノ設置等共同一致ノ精神、公德心ノ養成ニ努メ成人教育ニ關シテハ名
 士ヲ聘シ各種階級者ヲ網羅シ年々之ガ施設ヲナシツ、アリ更ニ學校教育ト社會教育
 乃至ハ實業界トノ連絡ニ關シテハ常ニ其ノ交渉ヲ密接ナラシメ互ニ裨補提携シテ其
 ノ事業ノ振興ヲ圖ラシメツ、アリ又視學打合會、各學校長會、其ノ他學事關係職員會ヲ
 開催シテ學事上ノ施設監督指導等ニ關スル指示協議ヲナシ苟モ遺漏ナカラシムルコ
 トニ努メタリ

本年度ニ於テ學事ニ關シ令達シタルモノヲ列舉スレバ次ノ如シ

縣 令

茨城縣立農業學校學則中改正

茨城縣立高等女學校學則中改正

(昭和十一年五月五日)
 (縣令第十七號)
 (昭和十一年五月十二日)
 (縣令第十八號)

茨城縣公立學校職員俸給支給細則中改正
學校醫、幼稚園醫規則中改正

(昭和十一年八月十四日)
(縣令第二十三號)
(昭和十一年九月十一日)
(縣令第二十六號)

告 示

小學校教員試驗檢定日割
縣立圖書館巡回書庫ノ開設
茨城縣國民精神文化講習所規程中改正
水戸市竹隈尋常小學校位置變更
水戸市常磐尋常高等小學校位置變更
小學校教員臨時試驗檢定施行
全

(昭和十一年五月十二日)
(告示第三六〇號)
(昭和十一年五月二十九日)
(告示第四一一號)
(昭和十一年七月二十一日)
(告示第五四四號)
(昭和十一年九月十五日)
(告示第六四九號)
(昭和十一年九月二十五日)
(告示第六六〇號)
(昭和十一年十一月二十七日)
(告示第七九二號)
(昭和十一年十二月二十六日)
(告示第八八二號)

學 齡 兒 童

就學ニ關スル規則施行ノ狀況

學齡兒童ノ總數ハ三十一萬五千七百三十三人ニシテ内男十五萬九千二十一人女十五萬六千七百十二人ナリ之ヲ前年ニ對比スレバ男千九百四十五人女二千四十七人ヲ增加セリ、而シテ就學兒童總數ハ二十七萬三千九百十三人ニシテ之ヲ前年ニ比スレバ男千七百四人女千四百七十七人ヲ増加シタリ、就學始期ニ達シタル學齡兒童ニ對スル就學歩合ヲ觀ルニ男九十九人六分九厘女九十九人五分六厘平均九十九人六分三厘ニシテ之ヲ前年ニ對比スレバ男五厘女四厘平均ニ於テ五厘ノ増加ヲ示セリ、而シテ之等調査ニ關シテハ隨時吏員ヲ市町村ニ派シ戶籍簿、學齡簿、學籍簿、出席簿其ノ他就學事務ノ檢閲ヲ行ヘ指示及注意ヲ與ヘ努メテ帳簿ト實際ノ一致ヲ圖ラシメムコトニ努メツツアリ

就學督勵ニ關スル施設事項

就學及出席ノ督勵ニ關シテハ常ニ法規並通牒ノ定ムル所ニ依リ或ハ町村吏員、學務委員、學校職員ヲ督勵シ缺席及不就學兒童ノ家庭ヲ訪問シ專ラ勸誘ニ當ラシムルト共ニ學齡兒童保護會、町村教育會、保護者會、少年團等ノ活動ヲ促シ或ハ部落相互兒童ノ出席督勵ニ從事セシムル等各種機關ヲ通ジ之ガ實行ニ努メツツアリ又兒童就學獎勵規程ヲ設定シ各市町村ヲシテ相當經費ノ支出ヲナサシメ縣ニ於テモ補助金ヲ交付シ救濟方法ノ徹底ヲ圖ルト共ニ就學出席ノ督勵ニ努力シツツアリ

小學校令第三十六條第一項ノ但書ニ依リ市町村ノ認可ヲ受ケ家庭又ハ其ノ他ニ於テ尋常小學校ノ教科ヲ修ムル者ノ狀況

小學校令第三十六條第一項ノ但書ニ依ルモノノ内師範學校附屬小學校ニ於テ修業スル者ハ男三百八十人女四百十人ニシテ家庭又ハ其ノ他ニ於テ尋常小學校ノ教科ヲ修ムル者男二十九人女二十五人アリ

就學猶豫又ハ免除ニ關スル事由等

就學ノ猶豫又ハ免除ノ處分ヲ了シタルモノハ其ノ原因疾病不具者ニシテ次表ノ如シ

	市			町			村			合計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
疾病 {猶免 豫除	3 1	2 3	5 4	45 30	61 29	106 59	114 69	101 72	215 141	162 100	164 104	326 204
貧困 {猶免 豫除	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計 {猶免 豫除	3 1	2 3	5 4	45 30	61 29	106 59	114 69	101 72	215 141	162 100	164 104	326 204

小 學 校

學校ノ設置廢合及設備ノ狀況

小學校ハ市町村立尋常小學校百二十三校、分教場五校、尋常高等小學校四百三校分教場百十二校、計六百四十三校ニシテ之ヲ前年ニ對比スレバ尋常小學校ニ於テ三校減シ尋常高等小學校ニ於テ一校増シタリ、學校ノ設備ニ在リテハ年々督勵ノ結果漸次完備ニ達セムトシツツアルモ教育ノ進展ト逐年兒童ノ増加トニ伴ヒ校舍ノ増築、改築校地ノ擴張教授用具ノ充實ヲ要スルモノ尙尠カラズ

學級編制

市町村立小學校ノ學級ハ尋常科四千五百二十三學級高等科千十學級補習科一學級計五千五百三十四學級ニシテ之ヲ前年ニ對比スレバ七十八學級ヲ増加セリ而シテ其ノ編制タルヤ尋常科ハ單學級ヨリ四十五學級ニ至ル内最多ナルハ六學級ニシテ十二學級之ニ亞ギ高等科ハ單學級ヨリ十八學級ニ至ル内最多ナルハ二學級ニシテ三學級之ニ亞グリ又制限超過編制ヲナスモノハ尋常高等小學校ニ於テ二十七學級二校、二十八學級四校、二十九學級一校、三十學級一校、三十一學級二校、三十二學級一校、三十四學級一校、三十六學級一校、四十一學級一校、四十三學級一校、四十四學級一校、五十三學級二校、五十四學級一校ナリ

公立學校ノ配置適否ノ狀況

學校ノ配置ノ狀況ハ概シテ適當ノ位置ニ在リ而シテ地方交通ノ發達ト共ニ兒童ノ通學道路ヲ改修シ又ハ學校數地ノ位置變更ヲナス等常ニ努メツツアルヲ以テ通學上著シキ不便ヲ認メズ

補習科及加設科目ニ關スル狀況

補習科ノ設置シアルハ尋常高等小學校一校ニシテ前年ニ比シ増減ナシ、加設科目ハ尋常小學校ニ於テ手工ヲ課スルモノ七十三校同分教場三校計七十六校尋常高等小學校ニ於テ尋常高等兩科共課シ尋常科手工高等科英語ヲ課スルモノ二十四校尋常科ノミ

4 管内學事ノ狀況

手工ヲ課スルモノ二百九十一校同分教場七十三校計三百八十八校ニシテ總計四百六十四校ニ及ビ執レモ該科目加設ノ目的ニ從ヒ内容ノ改善ヲ圖リツツアリ

授業料ニ關スル狀況

授業料ヲ徵收スル學校ハ三百七十五校ニシテ何レモ高等科ノミナリ而シテ最多ナルハ三十錢最寡十錢ニシテ平均二十八錢一厘ナリ徵收兒童總數ハ四萬五千五百二十九人ニシテ月額總計ハ一萬四千二百七十五圓三十七錢ニ達スルモ貧困兒童等ニ對シテハ相當減免ノ途ヲ講ジツツアリ

教員ノ需要供給勤續轉免俸給加俸其ノ他待遇上ニ關スル狀況

教員ノ需要供給ニ關スル縣内小學校ノ教員充實歩合ヲ示セバ次表ノ如シ

學級數	男女別	本科正教員	専科正教員	准教員	代用教員	計	學級ニ對スル本科正教員ノ充實歩合
5,534	男	3,464	241	376	287	4,368	82.07
	女	1,078	274	142	253	1,747	
	計	4,542	515	518	540	6,115	

右表ノ如ク本科正教員ハ四千五百四十二人ニシテ學級五千五百三十四學級ニ對比シ八十二人七厘強ノ配當ニ當ル而シテ教員ノ不足竝ニ其ノ素質ノ良否ガ兒童教育上ニ及ボス影響頗ル甚大ナルヲ以テ常ニ指導訓練ニ努力シ本科正教員ノ充實向上ニ努メ縣教育會又ハ郡教育會ヲシテ現教員ニ對シ夏季及冬季ニ於テ資格向上養成講習會ヲ開催シ資格ノ向上ト相俟テ素質ノ向上ニ努メ又ハ試験ノ上正教員免許狀ヲ授與シタルト毎年定期ニ小學校教員檢定試験ヲ施行シ資格ノ向上ヲ計リ需要供給ノ圓滑ヲ圖リツツアリ

幼稚園

幼稚園ノ設置廢止及設備ノ狀況

幼稚園ハ公立七、私立十五ニシテ前年ニ比シ増減ナシ

設備ノ狀況ニ關シ記述スレバ公立中市立ニ係ルモノハ獨立シアルモ町村立ニ係ルモノハ小學校ニ附屬シアリ、年々之ガ改善充實ニ努メツ、アルヲ以テ完備ノ域ニ達シツ、アルモ私立ニアリテハ尙設備ノ改善充實ノ急ヲ要スルモノ尠カラズト認メラル

幼兒保育ノ狀況

幼兒保育ノ狀況ニ關シテハ常ニ保母ノ研究視察ヲ行ヒ改善ヲ圖リツ、アルヲ以テ良好ナル成績ヲ收メツ、アリ幼兒數ハ男七百四十一名女七百八名ヲ收容シ居レリ

入園志願者ニ關スル狀況

入園志願者ハ毎年一進一退ヲ免レズ本年度入園者ハ千四百九十八名ニシテ前年ト大差ナシ

保姆ノ需要供給、勸續轉免、俸給其ノ他待遇上ニ關スル狀況

需要ノ關係極メテ圓滑ニシテ永年勸續者多ク待遇亦年ト共ニ向上シツ、アリ

師 範 學 校

學校ノ設置廢合及設備ノ狀況

師範學校ハ縣立ニ校ニシテ其ノ設備ニ就テハ年々増改築ヲ行ヒ器具器械標本等モ逐年購入シ整備ニ劣メタル結果稍完備ノ域ニ達シツツアリ

有資格教員ノ免許狀ヲ受得シタル事由別

有資格教員ノ總數ハ四十一人ニシテ教員養成ノ目的ヲ以テ設置シタル官立學校ノ卒業者最モ多ク、文部大臣ノ指定シタル者、試験檢定ニ依ル者、文部大臣ノ許可シタル者、其ノ他經歷ニ依ル等順次之ニ次ゲリ

教員ノ需要供給勸續、轉免、俸給加俸其ノ他待遇上ニ關スル狀況

教員ノ需要供給勸續轉免等ニ關シテハ執レモ勸續多年ニ互リツツアリト雖多少ノ異動アルヲ免カレズ然レドモ其ノ都度補充ハ極メテ圓滑ニ有資格者ノ任用ヲ見ツツアリ待遇ニ關シテハ俸給平均額教諭千三百十三圓、訓導七百八十四圓ニシテ年功加俸ハ教諭百九十二圓乃至六十圓、訓導百七十九圓乃至三十六圓ヲ支給シ待遇ノ途ヲ講ジツツアリ

生徒訓育ノ狀況

生徒訓育ニ就テハ教育ニ關スル勸諭ノ御趣旨ヲ奉戴シ從來ノ方針ニ則リ學校長及教員ハ必要アル毎ニ訓誨ヲ與ヘ生徒ノ自覺修養ヲ促シ校風ノ樹立ヲ圖リ常ニ思想ノ善導ニ留意スルハ勿論各學科教授ノ際機會アル毎ニ教育者タル品性ノ陶冶ニ努メ以テ其ノ信念ヲ鞏固ニシ且體育方面ニ於テモ從來ノ施設ヲ一層徹底的ニ自覺的ニ實行セシメ身體ノ鍛鍊ト健康ノ増進トヲ圖リツツアリ

生徒學業ノ進否

生徒ノ學業ニ就テハ自學自習、自發的活動ニ訴ヘテ研究的態度ヲ養成シ寄宿舎、圖書室ハ勿論學科教室ニモ參考書ヲ備ヘ隨時研究ニ意ヲ注ギ實驗實習ヲ重ンジ特ニ課外研究ノ制ヲ設ケ實地見學ヲナサシメ以テ實際的知識技能ヲ啓培シ興味ト努力トヲ喚起スル様指導シツツアルヲ以テ學業進歩ノ跡見ルベキモノアリ

生徒訓練ノ狀況

生徒訓練ハ常ニ其ノ目的精神ヲ理解セシメ之ガ實行ヲ期シツツアリ特ニ本科第一部第五學年及第二部第二學年ノ夏季二週間第四學年第一學年ノ冬季一週間ノ軍事講習ハ共ニ心身ノ修練ニ資シ軍事ノ理解ニ利シ其ノ成績顯著ナルヲ認ム生徒ニ於テモ良ク其ノ趣旨ヲ理解シ校風振作上ニ良好ナル影響ヲ與ヘツツアリ

生徒修學旅行ノ狀況

修學旅行ハ地理歴史理化其ノ他人情風俗ニ關スル一切ノ實地踏査博物植物ノ採取觀

察ノ目的ヲ以テ關西、關東、東北ノ各方面ニ旅行シ又ハ縣下ニ於ケル重要個所ヲ踏査シ學校ノ參觀鑛物地質ノ研究、史蹟調査ヲ行ヒ特ニ郷土ノ研究ニ關シテハ郷土館、郷土園ヲ設置シ研究ニ資シ豫定ノ目的ヲ達成シ其ノ效果ヲ大イニ收メタリ

入學志願者ニ關スル狀況

入學志願者ハ七百八十四人ニシテ前年ニ比シ稍減少シタルモ之ガ入學率ハ二十四人弱ノ狀況ニアリ

本科入學者父兄ノ職業別

本科入學者父兄ノ職業別ハ最モ多キハ農業ノ八十六ニシテ公務自由業ノ四十八、商業ノ二十九、無業ノ十、其ノ他ノ有業者ノ八、工業ノ七等順次之ニ次ゲリ

卒業者就職ノ狀況

本年度卒業者ハ師範學校本科第一部三十八人、第二部五十四人、專攻科二十人、女子師範學校本科第一部二十九人、第二部二十八人、專攻科七人ニシテ内師範學校ニ於テ高等師範學校入學一人、專攻科入學二人、女子師範學校ニ於テ專攻科入學六人アリ他ハ何レモ縣下各小學校ニ就職シタリ

附屬小學校ノ狀況

附屬小學校ハ二校ニシテ其ノ設備ニ就テハ年々改善ノ結果稍完備ノ域ニ達シツツアリ兒童ノ教育ニ關シテハ大體從來ノ方針ヲ繼承シ教授ハ實力養成ヲ主眼トシテ知識技能ヲ確實ニ取得セシメ自學自習ノ態度ヲ養成スルニ努メ教授學習ノ徹底ヲ期セシメタリ尙現今ノ教育學說ヲ斟酌シ教授法ノ改善ニ努ムルト共ニ兒童心身ノ發達ト衛生的方面ニ留意シ品性陶冶ニ努メ家庭トノ連絡ニ就テハ保護者會ノ活動ヲ促シ機會アル毎ニ來校セシメ又ハ家庭ヲ訪問シ雜誌ヲ發行シ印刷物ヲ配付シ通信ヲナス等協力的ニ兒童教養ニ努メツツアリ

專攻科及其他臨時施設事項ニ關スル狀況

專攻科入學者ハ兩師範共主トシテ學校長ノ推薦ニ依リ採用シツツアルヲ以テ成績頗ル良好ニシテ該科加設ノ趣旨徹底シ成績見ルベキモノアリ

教員ハ地方教育諸會合ニ講師トシテ招聘ニ應ジ講演或ハ實地指導ニ出張シ又地方ヨリ來校スルモノ年々増加シツツアリ尙縣下各小學校ノ聯合教育研究會ヲ開催シ種々共同研究指導ヲナス外青年團處女會等ノ講習講話等ニモ出張スル等社會教育方面ニモ貢獻シツツアリ

中 學 校

學校ノ設置廢合及設備ノ狀況

中學校ハ縣立十校、私立一校ニシテ其ノ設備ノ狀況ハ銳意之ガ改善充實ヲ圖リツツアルヲ以テ校舍及教授用器具器械等漸次整備ノ域ニ達シツツアリ

有資格教員ノ免許狀ヲ受得シタル事由別

有資格教員總數ハ百九十八人ニシテ教員養成ノ目的ヲ以テ設置シタル官立學校ノ卒業者最モ多ク文部大臣ノ許可シタル者、試験檢定ニ依ルモノ、文部大臣ノ指定シタル者、高等學校高等科免許狀ヲ有スルモノ、其ノ他ノ經歷ニ依ルモノ、實業學校教員免許狀ヲ有スル者等順次之ニ次ゲリ

教員ノ需要供給勤續轉免、俸給加俸其ノ他待遇上ニ關スル狀況

教員ノ需要供給勤續轉免ニ關シテハ異動者比較的尠ク供給ハ過剩ノ狀態ニアリ補充容易ニシテ極メテ圓滑ニ有資格教員ヲ採用シツツアリ本年度俸給額ハ教諭千二百七十一圓ニシテ年功加俸ハ二百一圓乃至六十圓ヲ支給シツツアリ

生徒訓育ノ狀況

生徒ノ訓育ニ就テハ從來ノ方針ヲ則リ品性ノ陶冶ニ努メ華奢輕薄ノ風ヲ去リ質實剛健ノ氣風ヲ涵養シ義務、責任ヲ重ンジ實踐ヲ督勵シ思想ノ善導ニ就キテハ常ニ世應ノ風潮ニ省ミ深甚ナル考慮ヲ拂ヒ生徒ノ性癖ヲ知悉シ教員ノ示範誘導ヲ行ヒ家庭トノ連絡協調ニ留意シ服裝容儀ニ於テモ訓育上ノ影響甚大ナルヲ以テ常ニ注意シ訓育施設ノ統一ヲ圖ルト共ニ徹底ニ努メ萬遺憾ナキヲ期シツツアリ

生徒學業ノ進否

生徒學業ニ關シテハ教授ノ改善進歩ヲ圖リ圖書器械標本器具ヲ購入シ且自學自習ノ趣味ヲ涵養シ以テ平素ノ勉學ヲ獎勵スルト共ニ夏季冬季ノ休暇ヲ利用シ特別教授ヲ施シ尙學業不進ノ生徒ニハ特別復習教授ヲナス等學力ノ向上ニ努メ又體育獎勵ニ就キテモ常ニ意ヲ用ヒ身體各部ノ圓滿ナル發達ヲ圖リタル結果相當ノ效果ヲ收得シタルモノト認ム

生徒訓練ノ狀況

生徒訓練ノ實施ニ際シテハ銳意其ノ目的ノ達成ニ努メ心身ノ發達及素質ヲ顧慮シ低學年ニハ規律心ヲ高學年ニハ自治協調心ヲ涵養スル如ク着意シ特ニ修身科ノ教授及一般訓育ニ連繫シ之ガ實現ヲ期シツツアルヲ以テ多大ノ效果ヲ收メタルモノト認ム

生徒修學旅行ノ狀況

生徒ノ知見ヲ廣メ修學ニ資スル爲關西、關東、東北ノ各地ニ旅行シ旅行ニ先ンジ豫メ觀察ノ要点ヲ印刷シ生徒ニ預ケ豫備知識ヲ與ヘタル結果其ノ收得セル所大ナルモノト認ム

入學志願者ニ關スル狀況

本年度入學志願者ハ千九百六十八人ニシテ内入學ヲ許可シタルモノ千三百三十三人ナリ之ガ入學率ハ六十八人弱ニシテ昭和七年度以降ノ入學志願者ヲ示セバ次ノ如シ

	昭和七年度	昭和八年度	昭和九年度	昭和十年度	昭和十一年度
本科	1,778	1,765	1,820	1,892	1,968

生徒ノ將來ニ於ケル希望ノ狀況

生徒將來ニ於ケル希望ノ狀況ニ就テハ時代ノ趨勢ニ伴ヒ上級學校ノ入學ヲ希望スルモノ多ク卒業後直ニ實業ニ就カントスル者年々減少ノ傾向ニアリ第四、五學年ノ希望狀況ヲ示セバ別表ノ如シ

入學者父兄ノ職業別

入學者父兄ノ職業別ニ於テ最モ多キハ農業ニシテ公務自由業、商業之ニ次ギ工業、無業交通業、水産業、其ノ他ノ有業者、鑛業、家事使用人順次之ニ次グリ

高等女學校

學校ノ設置廢合及設備ノ狀況

高等女學校ハ縣立九校、市立一校、私立二校ニシテ實科高等女學校ハ町立五校組合立三校ナリ之ヲ前年ニ比スレバ高等女學校ノ縣立二校ヲ増シ組合立一校ヲ減ジタリ其ノ設備ニ就テハ各校共年々之ガ充實ニ努メ作法、裁縫、割烹室ノ改善其ノ他圖書器械器具等ヲ購入シ着々完備ノ域ニ達シツツアルモ町村立私立ニ在リテハ尙改善補充ヲ要スルモノアリト認ム

有資格教員ノ教員免許狀ヲ受得シタル事由別

有資格教員ノ總數ハ百九十九人ニシテ文部大臣ノ許可シタル者最モ多ク、教員養成ノ目的ヲ以テ設置シタル官立學校ノ卒業生、試験檢定ニ依ルモノ、文部大臣ノ指定シタル者、其ノ他ノ經歷ニ依ルモノ、高等學校高等科免許狀ヲ有スル者、實業學校教員免許狀ヲ有スル者等順次之ニ次グリ

教員ノ需要供給、勤續轉免、俸給加俸其ノ他待遇上ニ關スル狀況

教員ハ一般ニ異動者尠ク退職者アル毎ニ有資格教員ノ任用ヲ見極メテ圓滑ニ運ビツツアリ待遇ノ狀況ハ縣立及市立ハ良好ナルモ町村立私立ニ在リテハ尙改善ヲ要スルモノ尠カラザルヲ以テ年々向上ニ努メツツアリ俸給ハ平均額教諭千五百圓年功加俸二百一圓乃至六十圓ヲ支給シツツアリ

生徒訓育ノ狀況

生徒ノ訓育ニ關シテハ從來ノ方針ニ基キ教育勅語及戊申詔書ノ聖旨ヲ奉戴シ學校ト家庭トノ連絡ヲ保チ道德意識ノ涵養ヲ基礎トシ時代ニ適應スル性格ノ養成ニ努メ情操ノ陶冶ト思想ノ善導ニ留意シ常識ヲ養ヒ一面温良貞淑ニシテ志操堅實タル婦徳ノ養成ニ特ニ力ヲ用ヒツツアリ

生徒學業ノ進否

生徒學業ニ就テハ常ニ教材ニ對スル確實ナル理解ヲ與ヘ有效ナル陶冶ヲナサムトシテ自學自習的ノ態度ヲ一層旺盛ナラシメ熱心眞摯ナル研究心ノ養成ニ努メ教授方針ノ確立教授方法ノ研究ヲナシ教室ヲ半特別學科教室トシ自學主義ヲ鼓吹シ特ニ閱覽圖書ノ指導自學研究室ノ設置等改善ヲ加ヘツツアルヲ以テ進歩ノ跡見ルベキモノアリ

入學志願者ニ關スル狀況

入學志願者ハ公私立ヲ通シ三千百九十五人ニシテ内入學ヲ許可シタルモノ千九百三十人ナリ之ガ入學率ハ六十二人弱ニ當レリ

本科實科入學者父兄ノ職業別

入學者父兄ノ職業別中最モ多キハ農業ニシテ商業、公務自由業、工業、無業之ニ次ギ他ハ何レモ僅少ナリ

補習科ニ關スル狀況

補習科ノ設置シアル學校ハ四校ニシテ生徒數七十六人アリ何レモ該科設置ノ主旨ニ從ヒ教授ヲナシツツアリ生徒モ自學、自習、勉學ニ努メツツアルヲ以テ成績良好ナリ

實業學校

工業學校

學校ノ設置、廢合及設備ノ狀況

縣立一校ニシテ其ノ設備ニ就テハ逐年改善ヲ加ヘ器具、器械標本等ノ充實ニ努メツツアルヲ以テ完備ノ域ニ達シツツアリ

各學年ノ學科課程

各學年共學科ト實驗實習ノ時間ノ配合ヲ適切ニシ教授ニ努メツツアリ

教員ノ資格別

教員ノ有資格十八人ニシテ有資格中最モ多キハ師範學校、中學校、高等女學校教員免許狀ヲ有スル者ニシテ文部大臣ノ指定シタル者大學卒業又ハ學士ト稱スルコトヲ得ル者實業學校教員免許狀ヲ有スル者等ノ順序ナリ

教員ノ需要供給、勤續轉免、俸給加俸其ノ他待遇上ニ關スル狀況

教員ノ需要供給ニ關シテハ常ニ意ヲ用ヒツツアルヲ以テ有資格教員多ク隨テ異動者モ尠ク且圓滑ニ運ビツツアリ待遇ニ關シテモ亦良好ナリ

生徒訓育ノ狀況

生徒訓育ニ就テハ全職員一致協力從來ノ方針ニ依リ工業家ニ適切ナル品性ノ養成ニ努メ特ニ思想ノ善導ニ力ヲ盡シタリ

生徒學業ノ進否

生徒學業ニ關シテハ智徳ノ練成ト身體ノ鍛鍊トニ相俟テ教職員一致教授ニ努メツツアルヲ以テ生徒モ自學自習ノ良風ヲ習ヒ漸次向上シツツアリ

生徒訓練ノ狀況

生徒訓練ニ就テハ職員及配屬將校等銳意振作シツツアルヲ以テ概ネ順調ニ發達ヲ遂ゲ成績良好ナリ特ニ訓練ノ效果ヲ直ニ各方面ニ利用シ之ガ平常化ヲ圖ルニ努メツツアルヲ以テ其ノ進歩顯著ナルモノアルヲ見ルニ至レリ

生徒修學旅行ニ關スル狀況

修學旅行ニ關シテハ關西、關東各地ニ旅行シ會社工場等ニ作業及設備ノ狀況ヲ實地ニ視察シ工業上ノ實際的知識ノ收得ニ努メタリ

入學志願者ニ關スル狀況

本年度募集人員ハ各科四十人ナリシガ入學志願者四百六十七人ニ達シ選抜考査ノ結果應用化學科四十五人機械科四十六人ノ入學ヲ許可シタリ

卒業者就職ノ狀況

卒業者ノ就職ニ關シテハ學校長、職員ハ機會アル毎ニ管内外ニ出張シ各官衙會社工場等ヲ訪問シ地方産業ノ狀況ヲ觀察シ又ハ卒業生勤務ノ狀況ヲ聴取シ教授ノ參考ニ資スルト同時ニ校内容ヲ紹介シ新卒業生ノ採用方ヲ依頼スル方針ヲ執リツツアルヲ以テ各種會社工場等ニ就職シタリ

生徒研究實驗實習及之ニ關スル設備ノ狀況

工業界ノ趨勢ニ鑑ミ知識ノ開發ヲ圖ル爲專ラ實務ノ練習ニ力ヲ致シ應用化學科ニ在リテハ理化實驗、電氣化學釀造業分析實習應用化學實習ヲナシ機械科ニ於テハ木形鑄物鍛工仕上ノ實習原動機ノ實驗ヲナシ實際的技能ノ發達ニ努メ生徒各自モ又趣味ヲ以テ種々研究各自隨意ノ作品ヲ製作シ賞讃ノ値アルモノ多シ

學校ト實業界トノ關係

學校ト實業界トノ關係ハ地方當業者ト連絡ヲ保チテ鑑定並ニ分析質疑ノ外各種ノ製作注文等ニモ應ジ斯業助長ニ多大ナル效果ヲ與ヘタルモノト認ム

農 業 學 校

學校ノ設置廢合及設備ノ狀況

農業學校ハ縣立十校、組合立二校ニシテ之ヲ前年ニ對比スレバ縣立ニ於テ一校ヲ増シ組合立ニ於テ一校ヲ減ジタリ其ノ設備ニ就テハ年々充實ニ努メツツアルヲ以テ内容外觀共漸次改善セラレ完備ノ域ニ達シツツアリ然レドモ組合立ニ於テハ何レモ設立新ニシテ尙補充ヲ要スルモノアルヲ認ム

各學年ノ學科課程

各學校共地方ニ適切ナル方法ニ依リ學科ト實習トノ連絡ヲ計リツツアリ

教員ノ資格別

有資格教員百六人無資格教員二人ニシテ有資格教員中最モ多キハ文部大臣ノ指定シタル者ニシテ師範學校中學校高等女學校教員免許狀ヲ有スル者、實業學校教員免許狀ヲ有スル者、大學卒業又ハ學士ト稱スルコトヲ得ルモノ之ニ次ギ他ハ何レモ尠シ

教員ノ需要供給勸績轉免俸給加俸其ノ他待遇上ニ關スル狀況

教員ノ需要供給ニ關シテハ各校共異動アル毎ニ極メテ圓滑ニ有資格教員ヲ任用シツツアリ待遇方法ニ於テモ亦良好ナリ

生徒訓育ノ狀況

生徒訓育ニ就テハ各校共從來ノ方針ニ則リ地方ニ適應スル實際農業者トシテノ人格的陶冶ニ努メ國民精神ノ涵養自治的精神ノ啓發ニ力ヲ致シ穩健着實ニシテ責任觀念ヲ重ンジ勤勞奉公ノ精神ヲ發養シ常ニ生徒ノ個性ヲ捉ヘ家庭トノ連絡ヲ密接ニシ適切ナル教養ヲナシツツアリ

生徒學業ノ進否

生徒學業ニ就テハ學科實習共ニ平素ノ勤惰並ニ成績ノ良否ニ留意シ常ニ周到ナル教授ト督勵ニ努メ尙成績不振ナル生徒ニ對シテハ特ニ父兄ニ其ノ成績ヲ通知シ家庭ト相俟テ成績ノ向上ヲ計リツツアリ

生徒訓練ノ狀況

生徒ノ訓練實施ノ狀況ハ教材ノ示ス處ニ依リ熱心ニ規則アル訓練ヲナシ特ニ精神教育ニ滋蓄ヲ傾ケタルヲ以テ順調ニ進ミ著實勤勞ノ徳風ニ秀テ責任觀念ヲ非常ニ向上シツツアリ

生徒修學旅行ニ關スル狀況

修學旅行ニ關シテハ各地ニ於ケル優良學校、農場、農事試驗場其ノ他農業ニ關スル各種ノ場所ヲ實地ニ見學セシメ視察力理解力ヲ養成シ見聞ヲ廣カラシメ知育德育體育ノ發達ト相俟テ一層農業知識ト趣味ノ涵養ニ努メツツアルヲ以テ其ノ效果良好ナリ

第二部ニ關スル狀況

第二部ノ設置シアルハ一校ニシテ定員三十人ナリ本年度入學志願者ハ三十六人ニシテ内二十一入學セシメタリ生徒訓育ニ關シテモ該科加設ノ主旨ニ依リ學科ト連絡ヲ保チ教授シツツアルヲ以テ成績良好ナリ

入學志願者ニ關スル狀況

入學志願者ハ縣立組合立ヲ通ジ千五百八十二人ニシテ内入學ヲ許可シタルモノ千二百三十七人之ガ入學率ハ七十八人強ニ當レリ而シテ縣立ニアルハ良好ナルモ組合立ニ於テハ募集人員ト大差ナキ狀況ナリ

卒業生就職ノ狀況

卒業生ノ就職狀況ハ大部分實業従事者ニシテ上級學校ニ入學スル者、官吏公吏等之ニ次グリ

生徒研究、實驗實習及之ニ關スル設備ノ狀況

實驗實習ハ知識ノ達成並ニ活用上緊要不可缺ノモノナルハ勿論勞作勤勞精神陶冶上重要ナルモノナルニ特ニ此ノ點ニ留意シ諸設備環境ノ整備ニ努メ特ニ農場實習ハ教育ノ樞軸タルヲ以テ之ガ施設經營ニハ學理ト實際トノ連絡ヲ計リタル爲好成績ヲ修メツツアリ

學校ト實業界トノ關係

實業界トノ連絡ニ就テハ努メテ學校ヲ開放シ卒業生ヲ督勵シ農業者ノ參觀ヲ爲サシメ可及的研究ニ資セシメ質疑ニ答ヘ又ハ農事相談、各種農産物品評會ヲ開催シ、農場視

察種子種苗ノ分讓等ヲナスヲ以テ逐年來校者増加ノ傾向ニアリ、又各地ニ教員ヲ出張セシメ農業蠶業ノ狀況ヲ視察セシメ講習會講話會ヲ開催シ講師ヲ派遣スル等農業知識ノ普及發達ヲ圖ルコトニ努メツツアリ

商業學校

學校ノ設置廢合及設備ノ狀況

商業學校ハ縣立四校ニシテ其ノ設備ニ就テハ各校共校舍ヲ設立シテ完備シ圖書器械標本ニ於テハ未ダ完備ノ域ニ達セザル憾アルヲ以テ年々充實ニ努メツツアリ

教員ノ資格別

有資格教員五十九人ニシテ師範學校、中學校、高等女學校教員免許狀ヲ有スル者最モ多ク文部大臣ノ指定シタル者、大學卒業又ハ學士ト稱スルコトヲ得ル者之ニ次ギ他ハ尠シ

教員ノ需要供給、勤續轉免俸給加俸其ノ他待遇上ニ關スル狀況

教員ノ需要供給轉免ニ關シテハ比較的異動者尠ク且異動者ヲ生ズル毎ニ有資格教員ノ採用ヲ圓滑ニ運ビツツアリ待遇方面モ亦良好ナリ

生徒訓育ノ狀況

生徒訓育ニ就テハ從來ノ方針ヲ繼承シ商業道德ニ最モ重キヲ置キ之ガ養成ニ努メ誠心誠意ヲ旨トシ士魂商才實踐躬行ニ努メ輕躁浮薄ナル行爲ノ矯正ニ努メ常ニ家庭及個性調査ヲナシ德性ノ涵養ニ努メツツアリ

生徒學業ノ進否

生徒學業ニ就テハ常ニ教授法ノ改善ニ留意シ技術的學科ニ就テハ特ニ學科擔任者ニ於テ指導ヲ與ヘツツアリ又時々學級主任者ニ於テ家庭ヲ訪問シ或ハ必要ニ應ジテ父兄ノ來校ヲ求メ其ノ他生徒手牒ヲ利用シ父兄トノ連絡ヲ圖リツツアリ

生徒訓練ノ狀況

生徒訓練ニ際シテハ規律、節制、犧牲ノ精神ト困苦缺乏ニ耐ユル忍耐力ノ養成ヲ主タル目的トシ諸德ノ涵養ニ努メ常ニ注意ヲ怠ラズ責任觀念ト共ニ果斷ナル氣象ノ發揮ニ意ヲ拂ヒ訓練シツツアルヲ以テ其ノ成績漸次向上シツツアリ

生徒修學旅行ニ關スル狀況

修學旅行ニ關シテハ關西、關東、奥羽等各方面ニ旅行シ商業上必要ナル知識技能ヲ收得シ又ハ地理歴史人情風俗ニ關シ研究ヲナシ會社工場、大商店ヲ見學シ實際商業界ノ知見ヲ與ヘル等裨益スル所尠カラズ

入學志願者ニ關スル狀況

入學志願者ハ九百六人ニシテ内入學ヲ許可シタル者三百六十九人ナリ之ガ入學率ハ四十一人弱ナリ

卒業者就職ノ狀況

卒業生ノ就職狀況ハ大部分實業従事者ニシテ官吏公吏及上級學校ニ入學スル者之ニ次ヅリ尙實業従事者ハ實業界ノ不振ニモ拘ラズ各銀行會社商店等ニ就職スルヲ得タリ

生徒研究實驗實習及之ニ關スル設備ノ狀況

生徒ノ實習ニ於テハ學科ノ教授ト連絡統一ヲ圖リ生徒ヲシテ自發的奮勵ニ依リ研究的態度ヲ以テ作業ニ従事スル習慣ノ養成ニ努メツツアリ

學校ト實業界トノ關係

實業界トノ聯絡ニ就テハ常ニ銀行會社大商店方面トノ連絡ヲ保テ特ニ卒業生トノ連絡ヲ密接ニシ文書通信ノ方法ニ依リ在校生ヲ指導鞭撻シ又ハ時々實業界ノ名士ヲ招聘シテ講話ヲ求ムル等實社會トノ聯絡ヲ圖リツツアリ

職 業 學 校

學校ノ設置廢合及設備ノ狀況

職業學校ニ屬スル女子技藝學校ハ組合立一校、町立四校、私立一校ナリ而シテ其ノ設備ニ關シテハ銳意完備ニ努力シツツアリト雖經費ノ關係上器具、器械、圖書ノ補給的購入ニ止マリ積極的設備ヲ爲スニ至ラズ

教員ノ資格別

有資格教員十六人無資格二人ニシテ有資格教員中最モ多キハ師範學校、中學校、高等女學校教員免許狀ヲ有スルモノニシア他ハ殆ントナシ

教員ノ需要供給勸續轉免俸給加俸其ノ他待遇上ニ關スル狀況

教員ノ需要供給ニ關シテハ之ガ向上改善ニ努メ成ルベク有資格ノ任用ニ努メツツアルヲ以テ年々向上進歩ノ氣運ニ向ヒツツアリ

生徒訓育ノ狀況

生徒訓育ニ關シテハ從來ノ方針ニ則リ質朴從順ノ美風ヲ助長シ技能ノ發達ニ留意シ地方的實際的女子タラシムル教養ニ意ヲ用ヒ勤勞體驗ヲ重ンズルト共ニ他面ニ於テハ優美ナル情操閑雅ナル舉止ヲ保タシムルコトニ努メツツアリ

生徒學業ノ進否

生徒學習指導ニ就テハ各科共參考書器械器具標本等ノ不備ナル憾アルモ教員ハ良ク改善工風ヲ加ヘ常ニ熱心ニ教授シ特ニ裁縫手藝ノ如キハ懇切ナル指導ヲナシ亦生徒モ自學自習ノ念漸ク高マリ其ノ成績向上シツツアリ

生徒修學旅行ニ關スル狀況

修學旅行ニ關シテハ經濟的緊縮ヲ主トシ關東各地ニ旅行ヲ試ミ見聞ヲ廣カラシメ知徳ノ研鑽ト共ニ實際的知識ノ涵養ニ資シタリ

入學志願者ニ關スル狀況

入學志願者ハ應募者尠キ憾アルモ地方的事情已ムヲ得ザルモノ、如ク本年度ハ志願

者三百七十一人ニシテ内二百六十七人ヲ入學許可シタリ

卒業者就職ノ狀況

卒業者ノ大部分ハ實業従事者ニシテ地方産業ノ發達ニ努力シツツアリ

生徒研究實驗實習及之ニ關スル設備ノ狀況

生徒ノ研究實驗實習ニ關シテハ各校共其ノ特色トモ視ルベキ主眼点ヲ置キ特ニ體驗ニ依リテ研究創作力ヲ涵養セシメツツアルヲ以テ益々向上シツツアリ

學校ト實業界トノ關係

實業界トノ關係ニ就テハ地方各諸會合ニ教職員ヲ講師トシテ派遣シ又ハ裁縫ノ需要ニ應ジ農園ヲ作り範ヲ垂レ農産物又ハ鶏ノ優良種普及改善ニ努メツツアリ

青 年 學 校

學校ノ設置及設備狀況

縣下全市町村ニ設置シアリ總數四百五十二校ニシテ内市立五校、町村立四百四十六校
私立一校ナリ

教練ノ設備ニ就キテハ漸ク整備シ來リタレドモ専用教室、實習設備等未ダ充分ナラズ
教員ノ資格別

公立青年學校ノ専任教員ニアリテハ師範學校、中學校、高等女學校教員免許狀受領者、實業學校教員免許狀所有者ノ外、小學校本科正教員、同專科正教員等ニシテ二百三十四名ナリ、私立青年學校ノ専任教員ハ實業學校教員免許狀所有者ニシテ六名ナリ

教員ノ需要供給

男女教員共需要關係適當ナリ

勤續、轉免、俸給、加俸其ノ他待遇上ニ關スル狀況

從來ヨリ勤續シツツアル者ニハ相當ノ俸給ヲ給與シツ、アルモ一般ニ待遇低キモノト認メラレ年功加俸ハ六十圓乃至二百四圓ヲ支給シツ、アリ

指導員ニ關スル狀況

一校三名乃至五名程度ニシテ何レモ當該町村ノ在郷軍人中下士官又ハ上等兵ノ階級ノ者多ク將校ハ少數ナリ

生徒訓育ノ狀況、生徒學業ノ進否

青年學校新制度施行以來訓育及學業等良好ナリ

生徒修學旅行ニ關スル狀況

修學旅行ハ概ネ一泊二日位ノモノ多シ但シ夏季ニ於テ教練ヲ主トスルキャンプヲ行フモノ漸次増加シツ、アル情勢ナリ

教練査閲ノ狀況

昭和十一年度ニ於ケル教練査閲ノ狀況概シテ良好ナリ

生徒研究、實驗、實習及之ニ關スル設置ノ狀況

生徒中一人一研究ヲ爲スモノ漸次増加スル傾向ニアリ實驗、實習ノ設備モ漸次充實シツ、アリ

學校ト實業界トノ關係

特記スベキ事項ナシト雖モ農業ノ實際ニ伴フ施設ヲ加ヘ農會トノ聯繫モ密接ノ度ヲ加ヘツ、アリ

青年學校教員養成所

學校ノ設置廢合及設備ノ狀況

縣立一校ニシテ大正六年水戸農學校ニ農業教員養成科ヲ加設後十一年四月農業補習學校教員養成所トナリ現今ニ至ル設備ノ狀況ハ年々之ガ充實ヲ圖リタル結果稍完備ニ達シツツアルモ尙農學校分ヲ併用スルモノ尠カラズ

有資格教員ノ免許狀ヲ受得シタル事由別

有資格教員總數ハ二十一人ニシテ内專任者二人他ハ何レモ兼務者ニシテ文部大臣ノ指定シタル者、實業學校教員免許狀ヲ有スル者多ク他ハ少シ

教員ノ需要供給、勤續轉免俸給加俸其ノ他待遇上ニ關スル狀況

教員ノ大部分ハ農學校ヨリノ兼務者ニ付異動ハ少ナク待遇方面ニ於テモ良好ナリ

生徒訓育ノ狀況

生徒訓育ニ就テハ本所所定ノ訓育要綱ニ從ヒ既往ノ經歷及個性ニ留意シ充分長養短補ノ實ヲ擧ゲ教育者トシテノ必要ナル素質ノ陶冶ト能力識見ノ養成ニ努メ職業觀念ヲ明確ニシ業務ニ通ジテ生クル信念ヲ與ヘシムルニ努メツツアルヲ以テ成績大ニ見ルベキモノアリ

生徒學業ノ進否

生徒學業ニ就テハ自學自習ト適切ナル教授訓練ニ依リ相當ノ成績ヲ收メツツアリ

生徒訓練ノ狀況

生徒訓練ニ關シテハ配屬將校之ニ當リ學校教練及青年訓練ニ關スル指導ヲ受ケツツアリ

生徒修學旅行ニ關スル狀況

修學旅行ニ關シテハ關東、關西各地ノ優良青年學校、農業施設經營ノ實情ヲ視察セシメ實際上ノ知識開發ニ努メタリ

入學志願者ニ關スル狀況

本年度入學志願者ハ百五十八人ニシテ内入學ヲ許可シタルモノ三十人ナリ

入學者父兄ノ職業別

入學者父兄ノ職業別ハ大部分農業ニシテ公務自由業、商業、無業等ハ僅ニ八人アルノミナリ

生徒ノ實習ノ狀況

生徒ノ實習ニ關シテハ常ニ勤勞ノ慣習ヲ養フヲ緊要ナルヲ以テ諸般ノ作業ヲ實地ニ指導シ之ガ農業ニ關スル教員トシテノ素質養成ニ努メタリ

卒業者就職ノ狀況

卒業者ノ就職ニ關シテハ卒業者全部ニ涉リ縣下青年學校及小學校ニ就職シタリ

盲學校及聾啞學校

學校ノ設置廢止及設備ノ狀況

盲學校ハ縣立一校私立一校ニシテ聾啞學校ハ縣立一校ナリ其ノ設備ノ狀況ニ就キテハ年々最善ノ努力ヲ拂ヒ教授用器具器械ヲ購入シ尙特別教室ノ設置教便物ノ充實ニ努メツツアルヲ以テ漸次整備ノ域ニ達シツツアリ

私立學校ノ狀況

私立學校ハ大正十四年新築後諸般ノ設備ニ最善ノ努力ヲ盡シタル結果相當實績ヲ擧ゲツツアリ教員ハ未ダ充分ト認メザルモ内容ノ充實ト待遇ノ向上ニ努メツツアリ生徒訓育ニ就テハ最モ同情ヲ與ヘ家庭的ニ取扱ヒツツアリ學業モ逐年技能進歩シ成績良好ナリ卒業者ハ家ニ在リ家事又ハ鍼按業ニ従事ス

教員ノ需要供給勤續轉免俸給其ノ他待遇上ニ關スル狀況

教員ノ需要供給ニ關シテハ特殊教育ナルヲ以テ採用困難ナルモ小學校又ハ中學校教員中ヨリ適當ナルモノヲ選定シツツアリ待遇ニ關シテハ斯種教育ハ教員ノ熟練ト犧牲的精神トヲ最要ノ條件トスルヲ以テ常ニ向上ヲ圖リツツアリ

生徒訓育ノ狀況

生徒訓育ニ就テハ個性ノ調査ヲ周密ニシ特ニ盲聾啞者トシテノ通有ナル缺陷ノ矯正ニ努メ一面個性ノ特質ニ應ジ個別的指導ニ力ヲ致シ將來有用ナル國民ヲ養成シツツアリ

生徒學業ノ進否

生徒學業ニ關シテハ教授法ノ改善ニ留意シ教材ノ研究ヲナシ實物模型或ハ實地ノ動作ニ訴ヘ或ハ觸接模索セシメツツアルヲ以テ一般ニ良好ナリ

生徒卒業後ノ狀況

生徒卒業後ノ狀況ニ關シテハ盲學校ニ在リテハ何レモ鍼灸按摩ツサージ業ヲ開業シ聾啞學校ニ在リテハ其ノ多クハ家事手傳ヲナシツツアリ

生徒失官原因ニ關スル調査

失官原因	茨城縣盲學校						茨城縣土浦盲學校					
	初等部			中等部			初等部			中等部		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
視神經網膜炎	2	1	3	5	2	7	—	—	—	1	—	1
色素性角膜炎	1	1	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
角膜強度近視	1	1	2	2	1	3	—	—	—	4	2	6
其他	—	1	1	2	1	3	—	—	—	—	—	—

失官原因	茨城縣盲學校						茨城縣土浦盲學校					
	初等部			中等部			初等部			中等部		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
トラホーム	1	—	1	1	1	2	—	—	—	—	—	—
角膜軟化	1	2	3	1	—	1	—	—	—	—	—	—
	2	3	5	1	—	1	—	—	—	—	—	—
漏天	3	2	5	1	—	1	—	—	—	—	—	—
	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
風眼	2	1	3	1	1	2	—	—	—	—	—	—
	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
膜内潰	1	2	3	1	1	2	—	—	—	—	—	—
	—	2	2	—	—	—	—	—	—	2	3	5
白膜	2	7	9	1	1	2	—	—	—	—	—	—
計	18	23	41	16	8	24	—	—	—	7	5	12

失官原因	茨城縣聾啞學校					
	初等部			中等部		
	男	女	計	男	女	計
先關中癱腦	32	—	32	21	—	21
	4	—	4	3	—	3
天膜耳	2	—	2	2	—	2
	4	—	4	—	—	—
打撲	1	—	1	2	—	2
	—	—	—	—	—	—
未詳	—	—	—	—	—	—
計	43	—	43	28	—	28

各種學校

學校ノ設置、廢止及設備ノ狀況

各種學校ハ總數三十七校、何レモ私立ニシテ内中學校ニ類スルモノ三校、高等女學校ニ類スルモノ三校、實業學校ニ類スルモノ二十校其他十一校ナリ、其ノ設備ニ就テハ中ニハ完全ナルモノアルモ概ネ個人經營ニ係ルヲ以テ其ノ設備充分ナラザルモノアリ

學校維持ニ關スル狀況

前記ノ如ク個人經營ニ係ルモノ多キヲ以テ維持困難ノモノ多キモノト認ム

授業ノ狀況

相當ノ教員ヲ有シ良ク各校々則ニ依リ教授法ノ研究ヲナシ教授用具ノ改善充實ニ努メツツアルヲ以テ漸次成績向上シ地方青年處女教導ノ爲裨益スル所多キモノト認ム

茨城弘道學院

學校ノ設置、廢合ノ狀況

大正十三年四月設置シ茨城縣立水戸中學校々舍ノ一部ヲ借リテ同月十五日開院式ヲ舉ゲ翌十六日授業ヲ開始セリ斯クテ昭和十年七月二十四日文部大臣ヨリ專門學校入學規程ニ依リテ指定ヲ受クルニ至レリ

設備ノ狀況

設備ハ殆ト全部水戸中學校ノモノヲ借用ス

教員ノ資格別

概ネ縣立水戸中學校ノ教員ノ兼務ニ係ルモノニシテ之ガ資格別ヲ示セバ次ノ如シ

	有資格教員						試験檢定ニ依ルモノ	計	無資格教員	總計
	教員養成ノ目的ヲ以テ設置シタル官立學校ノ卒業生	文部大臣ノ指定シタル者	文部大臣ノ許可シタル者	高等學校高等科免狀ヲ有スル者	實業學校免狀ヲ有スル者	其他ノ經歷ニ依ルモノ				
男	△1 兼△1	△1 兼△1	△1 兼△8	— 兼△3	—	—	△1 兼△7	△4 兼△24	— 兼△2	△4 兼△26
女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	△1 兼△1	△1 兼△1	△1 兼△8	— 兼△3	—	—	△1 兼△7	△4 兼△24	— 兼△2	△4 兼△26

△印ハ講師 兼ハ兼務者ナリ

生徒訓育ノ狀況

勉學ノ必要ヲ感ジ自ラ進ンデ入學シタル者ナレバ熱心ニ學業ヲ勵ミ操行上モ亦非難ハナカリシモ不運ノ境遇ニアル者多キヲ以テ或ハ悲觀シ或ハ不平ヲ抱ク如キ者ヲ生ゼザルヤウ訓育上特ニ是等ノ点ニ注意シ艱難ヨリ人ヲツクルト云フ如ク常ニ激勵ヲ怠ラザリシガ生徒ハ概シテ快活ニシテ憂フベキ傾向ナク殊ニ今回ノ指定後ハ一層明朗快活意氣ノ盛ナルヲ認メラル

生徒學業ノ進否

生徒ハ大底晝間職業ニ従事シ居ルヲ以テ豫習、復習ノ如キハ不充分ノ憾アレドモ學業ノ進ムニ從ツテ一學級ノ人員少キ爲教授力ノ徹底ト生徒ノ自奮努力ト相俟テ學業ノ成績ハ年ト共ニ向上進歩セルヲ見ル

授業ノ狀況

生徒ニ自學自習ノ風ヲ獎勵シ之ヲ教授上ニ活用スルハ勿論ナルモ前項ニ陳ベシ如ク生徒ハ境遇上自修ノ時間少キタメ教場ニテ生徒ヲ活動セシムル点ニ於テハ晝間中學ノ如クニ至ラズ

入學志願ニ關スル狀況

一學級五十名ノ募集ニ對シ應募者毎年幾分超過シ居リシガ文部大臣ノ指定後ハ相當多數ノ應募ヲ見タル狀況ニシテ退學者亦幾分減ジタレドモ尙永續セズシテ半途退學者ノ多キヲ見ルハ環境上止ムヲ得ザルモ遺憾トスル所ナリ

生徒ノ將來ニ於ケル希望

卒業後尙ホ進ンデ上級學校ニ入ラントスル者ハ少ク多クハ實際ノ業務ニ就カントスル者ニシテ現ニ従事シ居ル業務ニ於テ向上進展セントスルモノ亦尠カラズ

體育及學校衛生

學校醫、幼稚園醫、學校齒科醫並幼稚園齒科醫執務ノ狀況

學校醫ノ設置シアル公立學校、幼稚園ハ小學校五百十六校、師範學校二校、中學校十一校、高等女學校十八校、實業學校二十二校、青年學校七十一校、盲學校二校、聾啞學校一校、各種學校一校、幼稚園六園ニシア之ガ延人員六百六十八名、齒科醫ノ設置シアルハ小學校百十一校、師範學校二校、中學校十一校、高等女學校十四校、實業學校十七校、青年學校七校、盲學校一校、聾啞學校一校、各種學校一校、幼稚園五園ニシテ之ガ延人員百八十四名他ニ眼科醫ヲ設置シアル小學校一校アリ、而シテ學校視察ノ狀況ハ定期検査ノ外トラホーム檢診治療、寄生虫及頭虱ノ驅除、口腔衛生ノ實施ニ盡力スルト同時ニ時々一般衛生ニ關スル講演會等ヲ開催シツツアルヲ以テ年々成績ノ向上ヲ示シツ、アリ尙飲料水、寄宿舎等ニ就テハ特ニ注意シ専ラ生徒ノ保健ニ努メツ、アリ就中中等學校ニ於テハ比較的衛生設備完備シ居ルモ其ノ他ニ於テハ尙充分ト認メ得ザルヲ以テ一層之ガ改善進歩ニ努メムトス

學校看護婦設置、執務ノ狀況

學校看護婦ハ學校衛生上並ニ兒童生徒ノ健康上必要ヲ生ジ現在學校看護婦ヲ置ク學校ハ小學校十七校、師範學校二校、高等女學校一校之ガ延人員二十一名手當總額五千七百四十八圓ニシテ衛生保健上効果多シ

衛生設備ニ關スル狀況

衛生設備ニ就テハ先ツ校地ノ選定及校舎ノ建設等ニ校醫ト協調ヲ遂ゲ其ノ他屋外體操場、便所、水呑所、井戸、寄宿舎、教授用器械器具等ノ改善ニ留意シツ、アリ

教授衛生ニ關スル狀況

教授衛生トシテハ通學最遠料程及學級人員、授業時間後ノ休息睡眠時間等ニ留意シ尙每學期一回以上座席交換最前列兒童ト教壇トノ距離、机ノ配列、机腰掛ノ位置ノ釣合、季節的の時間割ノ變化、劣等兒教育、病的兒童ノ取扱等ニ對シ學校醫ト協力シ努メツ、アリ

體育運動ニ關スル狀況

體育運動ノ振興ニ關シテハ逐年其ノ氣運ハ向上セラレ女子中等學校體育聯盟及指導者體育聯盟等ヲ組織シ最近中等學校ニ於テモ之ガ實現化セラレムトシ相當運動獎勵ニ努メ各校共運動デーヲ設ケ運動會開催、多數校聯合ノ試合及運動會ヲ開催スル等相當效果ヲ收メツ、アリ

學校並幼稚園職員生徒兒童幼兒ノ健康狀態ニ關スル狀況

職員疾病ニ依リ退職、休職、死亡者ハ左ノ通ニシテ概シテ少ナク良好ナル成績ヲ舉ゲツ、アリ

	退 職 者	休 職 者	死 亡 者
小 學 校 教 員	15	47	11
青 年 學 校 職 員 (專 任 者)	2	—	2
中 等 學 校 職 員	3	—	2
計	20	47	15

生徒兒童ノ健康狀態ノ優良ナラザルモノ、主ナル病類別ハ齲齒、トラホーム、寄生虫、扁桃腺肥大、背柱後彎等ニシテ校醫モ之ガ豫防及加療ニ就テハ相當盡力セラレツ、アリ

身體虛弱者又ハ精神薄弱者ノ監督養護ニ關スル狀況

學校職員生徒兒童ニ於テ身體ニ異狀アルモノニ對シテハ直ニ校醫ノ診療ヲ求メ其ノ病狀ニ依リ入院又ハ歸宅治療ヲ命ズル等萬遺憾ナキヲ期シツ、アリ

學校給食ニ關スル狀況

學校給食ニ關シテハ貧困兒童ニ辨當若クハ副食物ヲ給シ又ハ短期間ニ於テ牛乳等ヲ給與スル學校モアリ

學校園、學林及植栽

學校園ハ教育上須要ナルヲ以テ各學校共學園ノ未設置ナルモノナク、之ガ整備ヲ期シツ、アリ、學林ハ概ネ山間部ノ學校ニ於テ設置シアリ而シテ學園、學林ハ受持教員指導ノ下ニ生徒兒童ヲシテ直接植栽手入等ニ當ラシメツ、アルヲ以テ教授上又ハ訓育上ニ効果ヲ及ボスモノ頗ル多大ナリ

教員檢定及免許狀授與

小學校教員ノ檢定試験ハ毎年二回無試験ハ隨時之ヲ施行セリ而シテ本年度ニ於ケル檢定總員數ハ男七百七十八名、女三百三十六名ニシテ内合格者男百六十五名、女百二十三名ナリ其ノ他師範卒業ニ依ルモノ男九十二名、女五十七名ニシテ免許狀授與總人員ハ男二百五十七名、女百八十名ニ達セリ

學事ニ關スル講習並ニ旅行

教員講習ハ縣主催十五回開催シ講習日數八十七日講習人員三千六百八十八名ニシテ各科共實際的研究ヲナシ執レモ相當ノ効果ヲ收メタルモノト認ム

學校長教員保母ノ學事研究並ニ視察ニ關スル旅行ノ狀況ニ就テハ其ノ教授ノ徹底訓育ノ完全ヲ期スル爲經費ノ許ス限リ努メテ各科教授研究訓育ノ狀況ヲ管内、及管外ノ

公立ニ係ルモノ四團體、其ノ他三團體ニシテ年々設備ノ完全ヲ期シツ、アリ
 縣立ニ係ルモノハ目下蹴球場、プール等ハ豫定地ハアリテ未設置ナルモ陸上競技場、野
 球場、庭球場ハ其ノ設備良好トナルニ從ツテ使用者ノ數モ年々増加ノ傾向ヲ示シツ、
 アルハ縣民體位向上ノ上ヨリ誠ニ喜ブベキ現象ナリ
 利用及開設ノ効果
 練習會、競技會、運動會其ノ他ニ就キ設立地ヲ中心トシテ學生團體其ノ他ノ利用益々増
 大ノ傾向ニアリ

圖 書 館

圖書館ノ設置、廢止ノ狀況

圖書館ハ公立五十三館、私立三十四館計八十七館ニシテ前年ニ比シ公立ニ於テ一館減
 ジタルハ廢止シタルモノナリ

設備ノ狀況

設備ノ狀況ニ就キテハ漸次諸般ノ設備ニ改善ヲ加ヘ又經營ニ不斷ノ努力ヲ拂ヒ所期
 ノ目的ニ邁進シツ、アリ

閱覽人ノ狀況

閱覽人員ノ狀況ハ公立ニ於テハ十三萬六百七十二人巡回文庫ニ係ルモノ十六萬四千
 三百四十八人夏季文庫ニ係ルモノ三千四百二十五人ニシテ私立ニ於テハ四萬三千九
 百一人巡回ニ係ルモノ四百五十人ナリ

閱覽圖書ノ種類別

圖書冊數ハ十六萬七千六十九冊ニシテ内和漢書十六萬三十冊、洋書七千三十九冊ナリ
 圖書ノ部類ハ「文學語學」最モ多ク「兒童圖書」之ニ次ギ「總記」「理學醫學」「歴史傳記、地理紀行」
 「宗教哲學」「社會教育家庭風俗」ノ順序ニシテ「工學軍事」「産業交通」ハ其數尠シ

巡回書庫ノ狀況

巡回書庫ノ狀況ハ縣立圖書館ニ係ルモノニ付キ之ヲ述ベンニ各郡四ヶ所宛合計五十
 六ヶ所ニシテ六月ヨリ翌年三月マデ十ヶ月間開庫シ、其ノ地方人ノ實情ヲ考慮シ讀書
 ニ依リ修養ノ爲ノ圖書一ヶ所七十冊ヲ送致シテ公衆ヲシテ閱覽セシム、而シテ書庫ハ
 郡内甲乙兩所ノ書庫ヲ十月末ニ交換セシメテ閱覽圖書ヲ倍加シ近年大イニ其ノ成績
 見ルベキモノアリ、巡回書庫ノ開庫日數ハ二百八十日ニシテ場内閱覽人員五萬千七百七
 十一人場外閱覽人員十一萬二千二百二十七人合計十六萬三千二百九十八人一日平均五
 百八十五人ノ多數ニ上レリ其閱覽人員ヲ區別スレバ「兒童」最モ多ク「農工商業者」之ニ次
 ギ「學生生徒」「教育、記者、宗教家」「其ノ他職業」「官公吏」ノ順序ニシテ「軍人」ハ其數最モ尠シ
 閱覽圖書ハ場ノ内外ヲ合計シテ十八萬八千五百二十九冊、一日平均六百七十五冊ニシ
 テ其部類別ヲ舉グレバ「文學語學」最モ多ク「歴史傳記、地理、紀行」之ニ次ギ「産業交通」「社會
 教育家庭風俗」「宗教哲學」「政治法律經濟、統計」ノ順序ニシテ「工學軍事」「理學、醫學」ハ其數

尠シ然レドモ各部類ノ圖書ハ良ク利用セラレタリ

常置教育的觀覽施設

教育參考館

教育參考館ハ 大正天皇御即位大禮ヲ記念シ縣下社會教育及學校教育ノ普及改善ニ資スル參考資料ヲ蒐集陳列シ縱覽セシムル目的ヲ以テ設置シタルモノナリ

縱覽人員ノ狀況

縱覽人員ハ三萬九千三十六人ニシテ一日平均八百十五人八分トナリ團體組數百六十八組ナリ是ヲ種類別ニ見レバ學生、生徒、兒童多數ヲ占メ其ノ他各種團體及一般人之ニ次グ猶近來成人及婦人ノ來館増加ノ傾向ヲ示セリ

陳列品ノ種類

陳列品ノ總數ハ四千七十五點ニシテ其ノ主ナルモノハ剝製動物標本、植物及礦物標本機械器具及各種模型、圖表、書畫等何レモ理學、工學、歴史ニ關スル參考品其ノ他等ナリ

常陽明治記念會

常陽明治記念會ハ財團法人ニシテ伯爵田中光顯ノ寄附ニ係リ 明治天皇御尊像其ノ他寶物ヲ基本トシテ寄附行爲ヲ以テ組織セラレ、事業ノ大要トシテハ 明治天皇ノ偉業盛徳ヲ永久ニ記念感戴シ國民信仰ノ一大標基タラシムベキ附屬明治記念館ヲ建設開館シタリ而シテ 明治天皇ノ偉業盛徳ヲ慕ヘテ來館スルモノ多ク昭和十一年度ニ於テハ四萬九千六百三人ノ多キニ達セリ

青年團及少年團

男子青年團ノ設置、廢止ノ狀況

男子青年團ハ三百八十四團ニシテ各町村聯合シテ郡聯合青年團ヲ市ハ市聯合青年團ヲ組織シ更ニ縣聯合青年團ニ統一セラル

經營及維持ニ關スル狀況

昭和十一年度收入總額ハ五萬二千六百四十六圓ニシテ市町村費補助大部分ヲ占メ團員讓出額、寄附金等之ニ次ギ支出總額ハ四萬九千四百十一圓ナリ

教育及修養ニ關スル施設及狀況

社會教育主事並主事補ノ指導ノ下ニ 內務、文部兩大臣ノ訓令ニ基キ時運ニ稽ヘ地方ノ實情ニ適切ナル施設ヲナシ殊ニ體育ノ獎勵ト思想ノ善導トニ就キテハ青年大會體育指導者講習會、青年幹部講習會ヲ開催シ身體ノ鍛鍊ト精神ノ修養ニ資スル所大ナリ郡市及町村青年團ニ於テモ學校職員、青年團幹部地方有志等各種修養施設ヲナシ其ノ主ナルモノハ 硯究發表、講演會、講話會、中堅青年講習會、圖書館ノ開設、團報ノ發行、道路改修勤儉貯蓄ノ實行青年學校トノ連繫等心身ノ修養鍛鍊、社會奉仕ノ爲殆ト其ノ撥ヲ一ニ

シツツアリ

女子青年團ノ設置、廢止ノ狀況

女子青年團ハ三百八十七團ニシテ各町村聯合シテ郡聯合青年團ヲ、市ハ聯合女子青年團ヲ組織シ、更ニ縣聯合青年團ニ統一セラル

經營及維持ニ關スル狀況

昭和十一年度收入總額ハ二萬百圓ニシテ市町村費補助、團員離出額等大部分ヲ占メ支出總額ハ一萬八千百十四圓ナリ

教育及修養ニ關スル施設及狀況

女子青年團ハ創立日尙淺ク男子青年團ニ比シ遺憾ノ點ナシト言フヲ得ザレドモ斯道向上ノ爲努力シツツアルヲ以テ漸次改善セラレツツアリ其ノ主ナル事業ハ勤儉貯蓄、團報ノ發行、敬老會、風俗習慣ノ改善、裁縫、作法、割烹等ノ講習會、講演會等ヲ開催シ良好ナル成績ヲ收メツツアリ

少年團ノ設置、廢止ノ狀況

男女少年團ハ何レモ小學校ニ附設セラレ學校兒童ヲ以テ組織セラレ其ノ團體ヲ示セバ次ノ如シ

	男	女	計		計		
			男	女	男	女	
團體數	33	14	149		196		
正團員	十六歳未満	5,832	3,178	30,687	27,810	36,519	30,988
	二十歳未満	81	—	157	16	238	16
	計	5,913	3,178	30,844	27,826	36,757	31,004

經營及維持ニ關スル狀況

昭和十一年度ニ於ケル收支ヲ示セバ次ノ如シ

本年度收入總額					本年度支出總額
市町村費	團員離出額	寄附金	其ノ他	計	
円 790	円 937	円 213	円 554	円 2,494	円 2,187

教育及修養ニ關スル施設及狀況

主ナル施設ヲ擧グレバ就學獎勵、自習會、講演會、書籍ノ購讀、キャンプ訓練、時ノ宣傳、交通衛生、火防ノ宣傳、公德事業、軍事的訓練、交通衛生、道路ノ改修等ナリ

成人教育

昭和十一年度ニ於ケル成人教育施設概要次ノ通ニシテ相當ノ効果ヲ收ム

1、公民教育講座

新有権者ヲ各郡市一ヶ所ニ集メ新有権者教育講座ヲ開設シテ公民教育並政治教育ノ普及徹底ニ努メタリ本施設ハ最初ノ試ミチルモ出席者極メテ熱心ニシテ其ノ効果見ルベキモノアリ

2、農村講座

文部省ト共同主催ニテ農村ニ於ケル中堅者ニ農村振興ノ信念ヲ涵養スル爲ニ縣下五ヶ所(結城町、大子町、石岡町、上郷村、鹿島町)ニ農村講座ヲ開設シ受講者總數五百六十名アリテ相當ノ効果ヲ收メタリ

3、選舉肅正運動

縣下全町村全部落ニ於テ全成人ニ對シテ選舉肅正運動ヲ起シ政治、教育、公民教育ノ徹底ニ努メ豫期以上ノ効果ヲ收メタリ

4、映畫ニ依ル教育

隨時各所ニ映畫講演會ヲ開催シ映畫ヲ通ジテ一般成人ノ教育ヲナセリ

5、全村教育運動

經濟更正運動ト相俟テ各郡一、二町村ヲ指定シテ全村教育ノ普及ヲ圖ル、該町村ニ於テハ夫々全町村民ヲ對象シタル特色アル郷土教育ノ成績ヲ舉ゲツツアリ他町村ニ於テモ之ガ運動ニ刺戟セラレ全村教育ニ關スル認識ヲ深メ漸次全縣下ニ斯道教育普及ノ氣運ニアリ

6、將來社會教育上新タニ施設計劃セントスル事項次ノ如シ

(1) 社會教育委員

全町村ニ社會教育委員ヲ設置シテ社會教育網ヲ敷キ是ガ教育徹底ヲ圖ル

(2) 壯年團結成ノ勸奨

二十五歳以上四十歳ニ至ル中堅壯年ヲ以テ壯年團ヲ結成セシメ郷土教育ノ爲獻身的奉公ヲ以テ自治ノ振興ヲ圖リ一ニ自己ノ修養ニ當ラシム

社會教育團體

茨城縣精神作興聯合會

茨城縣精神作興聯合會ハ國體觀念ヲ明徴ニシ國民精神ノ作興ヲ期スルト共ニ經濟生活ノ改善ヲ圖リ國力ヲ培養スルコトノ二大眼目ヲ標榜シ極力之ガ徹底ヲ期スベク文部省ノ高調セル教化動員ノ趣旨ニ基キ昭和四年九月二十四日茨城縣水戸高等女學校ニ於テ創立ヲ見タルモノナリ

本會ハ各郡市教化團體ニヨリテ組織セラレ其ノ事業ノ主ナルモノヲ舉グレバ次ノ如シ

一、精神作興並生活改善ニ關スル協議會ノ開催

一、精神作興並生活改善ニ關スル講演會、講習會ノ開催

一、講師ノ派遣及斡旋

- 一、精神作興並生活改善ニ關スル調査研究及印刷物ノ發行
- 一、精神作興並生活改善ニ關スル映畫及展覽會等ノ開催
- 一、論文標語ノ募集
- 一、篤行者及優良團體ノ表彰
- 一、其ノ他本會ノ目的ヲ達成スルニ必要ナル事項

教育品展覽會

教育品展覽會ハ開會回數三百八十三回開會日數八百八十九日ニシテ父兄懇話會、學藝會、其ノ他教育的會合ヲ利用シ同時ニ生徒兒童ノ成績品展覽會ヲ併セ開催スルモノ多ク公衆一般ノ縦覽ニ供シ又家庭トノ連絡及向學心ノ振興ヲ圖リ教育上好影響ヲ及ボス所尠カラズ

教 育 會

縣教育會ハ社團法人ニシテ縣下各郡市教育會ヨリナリ其ノ事業ノ主ナルモノハ教員ノ養成、講習會、教育講演會ノ開催、視察員ノ派遣、夜間中學ノ經營、教育上ニ於ケル諸問題ノ研究、教科書ノ調査編纂機關雜誌、兒童讀本ノ發行又ハ名士ヲ聘シ通俗講話會及夏期大學ヲ開催スル等一般教職員ノ研究修養ニ資スルト共ニ小學校及青年教育上裨益スル所頗ル多シ

本年度ニ於テ教員保姆講習會ノ開催ハ次表ノ如シ

名 稱	主 催 者	講習員ノ資格	講 習 科 目	講 師 數	講習日數	講習人員	講習證書授與人員
國民精神文化會 短期講習會	茨城縣	小學校教員	思想問題關係	6	3	453	418
全	全	全	全	6	3	445	407
國民精神文化會 長期講習會	全	全	全	12	28	30	30
讀方講習會	茨城縣教育會	全	讀方科	1	1	320	—
全	全	全	全	1	1	250	—
算術講習會	全	全	算術科	1	1	340	—
全	全	全	全	1	1	260	—
修身講習會	全	全	修身科	1	1	330	—
全	全	全	全	1	1	210	—
小本正養成會 夏期講習會	全	小學校教員及教員希望者	教育科	2	6	310	310
全	全	全	音樂科	4	6	180	180
尋正養成講習會	全	全	音樂、音體、手工	24	60	60	60

名 稱	主 催 者	講習員ノ資格	講 習 科 目	講 師 數	講習日數	講習人員	講習證書 授與人員
全 小 講 全	全 全 全	全 全 全	全 教 育 科 音 樂 科	21 2 4	60 6 6	45 280 175	45 280 175

郡市教育會ハ郡市内教育關係者有志ヲ以テ組織シ基本金ノ利子、市町村ノ補助、會員ノ負擔及寄附金ヲ以テ維持シツツアリ、其ノ事業ハ就學獎勵、教員ノ養成、講習講話、圖書館ノ施設、雜誌ノ發行、學事研究視察、優良兒童ノ表彰、教育功勞者ノ表彰等ニシテ地方教育上貢獻シツツアリ

教育ニ關スル法人

教育ニ關スル法人ハ總數十二團體アリ内社團法人ニ係ルモノ八團體、財團法人ニ係ルモノ四團體ナリ尙之ヲ種別スレバ學校ニ屬スルモノ三、教育會七、其ノ他二團體ナリ

縣會及市町村會

縣市町村ニ於ケル教育問題ニ關スル議事ノ狀況ハ慎重ニ審議セラレ他ノ事項ノ如クニ漫リニ削減スルコトナク相當ノ理解ヲ以テ穩當ニ決議ヲナシツツアリ

學事關係職員及學事視察

本縣學事關係職員ハ書記官一名、地方事務官一名、地方視學官一名、學校衛生技師一名、社會教育主事一名、體育運動主事一名、視學七名、屬九名、社會教育主事補二名、實業教育主事一名、實業教育主事補一名、雇六名市ニアリテハ書記二名ナリ

本年度學事視察ハ視學官、師範學校長、視學ハ專ラ學校ノ設備教授訓練養護ノ良否並教育事務ノ整否ヲ社會教育主事及社會教育主事補又ハ實業教育主事及實業教育主事補ハ青年學校、青年團、女子青年團ノ經營施設ノ狀況ヲ視察シ學校衛生技師ハ專ラ學校衛生ニ關スル視察ヲナセリ

而シテ小學校ニ就テハ詳密視察、概要視察ノ外教授ニ亙リ視學ヲシテ徹底的ニ視察ヲナサシメタリ又市町村ニ於テハ三名乃至二十名ノ學務委員ヲ置キ夫々區内ノ教育事務ニ關シテハ勿論市町村長ヲ補佐シ機會アル毎ニ學校ニ臨席シ諸般ノ設備其ノ他ニ關シ委員會ヲ開キ就學出席ノ督勵ニ努メ相當ノ活動ヲナシツツアリ

本年度學事關係職員並師範學校長學事視察ノ狀況ハ次表ノ如シ

	長官事		學務長		視學官		地方事務官		視學		屬		體育運動主事		實業教育主事		學校衛生技師		師範學校長		計				
	回数	日數	回数	日數	回数	日數	回数	日數	回数	日數	回数	日數	回数	日數	回数	日數	回数	日數	回数	日數	回数		日數		
																					延數	實數	延數	實數	
小學校	—	—	—	—	7	7	8	9	725	507	2	2	48	48	—	—	13	28	33	53	1,155	836	654	654	
師範學校	—	—	1	1	2	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	4	4	4
中學校	—	—	1	1	7	7	3	3	3	3	1	1	3	3	—	—	1	1	—	—	—	19	19	19	19
高等女學校	—	—	6	6	9	9	4	4	2	2	2	2	3	3	—	—	2	2	—	—	—	28	28	29	29
實業學校	—	—	8	8	10	10	8	8	4	4	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—	31	31	31	31
青年學校	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	4	5	6	6	$\frac{79}{56} \times 56$	$\frac{81}{63} \times 63$	—	—	—	—	—	146	146	156	156
青年學校教員養成所	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
盲學校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
聾啞學校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
各種學校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
幼稚園	—	—	—	—	—	—	—	—	3	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	3	3	3
合計	延數	—	16	16	36	36	24	25	1,027	519	9	10	60	60	$\frac{79}{56} \times 56$	$\frac{81}{63} \times 63$	32	33	47	53	1,386	—	896	—	
	實數	—	16	16	36	36	24	25	737	519	9	10	60	60	$\frac{79}{56} \times 56$	$\frac{81}{63} \times 63$	17	33	33	53	—	1,067	—	896	

×印ハ社會教育主事ナリ

學 事 獎 勵

學事獎勵ニ關シテハ從來ノ施設ヲ繼承シ本年度内ニ於テハ實業學校、實科高等女學校男女青年團、青年學校、私立學校、教育會等ニ對シ補助金ヲ交付シ教育功勞者及優良學校ノ表彰ヲ行ヒ貧困兒童ノ爲就學シ得ザル兒童ノ保護救濟上補助金ヲ交付シ其ノ他普通教育獎勵、學校衛生、體育獎勵等銳意教育ノ普及振興ニ努メタリ

將來學事施設上須要ノ件

- (1) 學校ノ設備改善並内容ノ充實ヲ圖ルコト
- (2) 就學事務ヲ改善シ貧困兒童ノ保護救濟ヲ全フシ以テ義務教育ノ徹底ヲ期スルコト
- (3) 時代ノ趨勢ニ鑑ミ人格教育ノ徹底ト國家觀念ノ涵養ニ努ムルコト
- (4) 高等小學校ニ於テハ實業科、家事科、手工科ノ設備ヲ完成シ學科擔任ノ制ヲ加味シ内容ノ改善充實ヲ期スルコト
- (5) 師範教育ノ改善並設備内容ノ充實ヲ期スルコト
- (6) 中等教育機關ヲ改善シ教育ノ機會均等ヲ圖ルコト
- (7) 教員ノ實力養成ト資格ノ向上ヲ期シ服務意識ヲ一層旺盛ナラシムルコト

將來社會教育施設上須要ノ件

- (1) 青年學校ノ内容並專任教員其ノ他設備ヲ充實シ大衆男女青年ノ教育ノ徹底ヲ期スルコト
- (2) 青年學校教員養成機關ヲ整備シ優良教員ノ養成ニ努ムルコト
- (3) 男女青年團ノ活動ヲ促シ青年團運動ノ振興ヲ圖ルコト
- (4) 壯年團、婦人會等ノ普及發達ヲ圖ルコト
- (5) 生徒兒童ノ校外生活ノ訓練ノ徹底ヲ期スルコト
- (6) 圖書館ノ擴充ヲ圖ルコト
- (7) 公民教育、成人教育ノ徹底ヲ期スルコト
- (8) 映畫教育ノ振興ヲ圖ルコト
- (9) 民衆體育ノ振興ヲ圖ルコト
- (10) 各種敎化團體ノ活動ヲ促シ敎化事業ノ振興ヲ圖ルコト

公學費及公學資産

昭和十一年度ニ於ケル公學費總額ハ八百三十六萬二千四百六十三圓ニシテ内縣經濟ニ屬スルモノ百五十二萬八千七百八圓、市經濟ニ屬スルモノ七十三萬八千七百四十五圓、町村經濟ニ屬スルモノ六百九萬五千一圓ニシテ之ヲ前年度ニ對比スレバ總額ニ於テ九十九萬五千百一十一圓乃チ一割三分五厘強ノ増加ヲ示セリ
其ノ増減ヲ前年度ニ對比スレバ次表ノ如シ

	公 學 費		支 出 額	
	前 年 度	本 年 度	前 年 度 比 較	
			増	減
縣	1,323,445	1,528,708	205,263	—
市	271,949	738,745	466,796	—
町	5,771,958	6,095,010	323,052	—
村				
計	7,367,352	8,362,463	995,111	—

尙種別ニ依リ前年度ニ對比スレバ次表ノ如シ

	公 學 費		支 出 額	
	前 年 度	本 年 度	前 年 度 比 較	
			増	減
小 學 校	5,195,756	5,940,974	745,218	—
師 範 學 校	143,675	144,704	1,029	—

	公 學 費		支 出 額	
	前 年 度	本 年 度	前 年 度 = 比 比	
			増	減
中 學 校	401,021	421,702	20,681	—
高 等 女 學 校	356,545	396,744	40,199	—
實 業 學 校	472,333	470,090	—	2,243
青 年 學 校	434,315	472,896	38,581	—
青年學校教員養成所	7,191	7,344	153	—
盲 學 校	8,488	8,631	143	—
聾 啞 學 校	7,401	7,488	87	—
圖 書 館	10,771	10,224	—	547
幼 稚 園	8,181	11,134	2,953	—
其 他	321,675	470,532	148,857	—
計	7,367,352	8,362,463	995,111	—

而シテ前年ニ比シ増加シタル事由ハ主トシテ小學校、中學校、高等女學校ニ於ケル増改築及敷地擴張ニ依ルモノナリ

公學費收入總額ハ三百五十九萬四千三百六圓ニシテ内縣經濟ニ屬スルモノ九十三萬六千八百八十二圓、市經濟ニ屬スルモノ十萬二千二百四圓、町村經濟ニ屬スルモノ二百五十五萬六千九百二十圓ニシテ之ヲ前年度ニ對比スレバ六萬三千四百七十九圓乃チ零割一分七厘強ヲ減少セリ

其ノ増減ヲ前年度ニ對比スレバ次表ノ如シ

	公 學 費		收 入 額	
	前 年 度	本 年 度	前 年 度 = 比 比	
			増	減
縣	681,414	936,182	254,768	—
市	97,894	101,204	3,310	—
町 村	2,878,477	2,556,920	—	321,557
合 計	3,657,785	3,594,306	—	63,479

學校基本財産ハ現金預金及有價證券ニ於テ總額百三十七萬七千八百五十四圓ニシテ内縣ハ三十七萬七千四百十八圓、市ハ二萬四千三百六十九圓、町村ハ九十七萬六千六十七圓ナリ、土地ハ二百一十一萬九千三十三坪ニシテ其ノ價額ハ五十九萬百八十五圓ナリ積立金ハ十四萬四圓ナリ之ヲ前年度ニ對比スレバ現金預金、有價證券ニ於テ二萬三千二百八十七圓、土地ニ於テ七千七百七十二坪増加セルモ之ガ價額七千二百五十八圓、積立金八千五百七十四圓減少セリ、而シテ之等金額ノ管理ニ就テハ確實ナル銀行預金最も多ク有價證券、郵便貯金之ニ次ギ何レモ適當ナル方法ニ依リ利殖ヲ圖リ又土地中田、

如ハ貸付シ森林原野ハ植樹ノ方法ヲ講ズル等收益ノ増加ニ努メツ、アリ

教育資金

本年度貸付金ハ一萬千八百圓、戻入額ハ一萬七千六百七圓三十九錢ナリ教育獎勵普及改善ノ爲支出シタル普通教育獎勵金ハ三千四百六十九圓八十九錢ニシテ小學校教育疾病療治料ハ千四百八十圓支給人員七人ナリ本年度内ニ資金ヨリ生ズル収入ハ六千三百四十圓三十八錢ナリ、而シテ本年度末現在貸付金額ハ六萬五千五百七十八圓四十五錢ナリ

兒童就學獎勵資金

大正十三年 御下賜アラセラレタル資金二萬三千八百六十三圓ヲ蓄積シ之ヨリ生ズル収入及國庫交付金ヲ以テ兒童就學獎勵施設ヲナシタル市町村及貧困兒童救濟施設ヲナシタル市町村ニ對シ本年度ニ於テハ二萬八千六百六十四圓ヲ補助シ施設ノ普及發達ニ努メタリ

男女青年團體事業獎勵資金

大正十四年 御下賜アラセラレタル資金一萬八千圓ヲ蓄積シ之ヨリ生ズル収入ヲ以テ本年度ニ於テハ獎勵金二百圓、其ノ他公益團體ニ對スル補助金七百五十圓ヲ支出シ男女青年團體ノ各種事業ノ指導獎勵ニ努メタリ

市町村立小學校教員加俸資金

市町村立小學校教員加俸資金ハ總額十萬三千八百四十九圓五十六錢ニシテ年功加俸支給金額ハ九萬八千四百八十四圓九十七錢、特別加俸支給金額ハ三千六百十一圓ニシテ差引千七百五十三圓五十九錢ヲ翌年度へ繰越シタリ

公立學校職員年功加俸資金

公立學校職員年功加俸資金ハ七萬八千五百五十八圓九十九錢ニシテ加俸支出金額ハ七萬六千二圓三十二錢、國庫納金千七百七十六圓二十三錢ナリ、而シテ差引千三百七十五圓四十二錢ヲ翌年度へ繰越シタリ

教育及學藝ニ關スル資金ノ類

茨城縣獎勵資金アリ學事獎勵ノ爲本年度ニ於テ師範學校獎勵費六十四圓九十九錢中等學校獎勵費二百四十二圓五十錢織田勸農費百二十三圓六十八錢雜費十九圓五十錢ヲ支出シ縣立各學校優良生徒ヲ表彰シ夫々賞品ヲ授與シタリ本年度末現在高ハ八千三百四十八圓七十錢ナリ

徳川獎學基金ハ中等學校研究獎勵費三百圓小學校研究獎勵費二百五十圓研究物審査費五十圓中等學校教育獎勵費四百五十圓郷土研究獎勵費十一圓八十五錢ニシテ本年度末現在高ハ四萬九千三十七圓二十四錢ナリ

茨城縣體育獎勵基金ハ事業獎勵費四百六十一圓六十七錢ヲ支出シ斯道獎勵ノ爲努メタリ本年度末現在高ハ一萬九千六百六十五圓十六錢ナリ

市町村義務教育費國庫負擔法ニ依ル交付金

市町村義務教育費國庫負擔法ニ依リ本年度ニ於テ管内市町村ニ交付セラレタル金

額ハ二百十四萬七千八百九十五圓ニシテ其ノ費途中最モ多キハ教員俸給ニ充當シタル金額ニシテ市町村經濟ヲ緩和シタルコト多大ナリ尙之ガ支途ヲ種別スレバ次表ノ如シ

種 別	市	町	村	計
教員ノ俸給ニ充當シタル金額	円 50,865	円 509,471	円 1,340,591	円 1,900,927
教員ノ増俸ニ充當シタル金額	—	1,318	3,951	5,269
教育施設ノ改善ニ充當シタル金額	—	3,049	24,282	27,331
住民ノ負擔軽減ニ充當シタル金額	—	39,159	168,507	207,666
他ノ經費ニ充當シタル金額	—	931	5,771	6,702
計	50,865	553,928	1,543,102	2,147,895

公學費及公學資産増減ノ理由

縣本年度支出總額ハ百五十二萬八千七百八圓ニシテ前年度ニ比シ二十萬五千二百六十三圓ノ増加ヲ示セリ而シテ之ガ主タル原因ハ高等女學校ニ於テ縣移管二校及實業學校ニ於テ縣移管一校アリタルト特別會計繰入金ノ増加シタルニ依ル收入總額ハ九十三萬六千八百八十二圓ニシテ前年度ニ比シ二十五萬四千七百六十八圓増加シタルハ主トシテ寄附金ノ多カリシニ依ル公學資産中土地坪數ノ増加セルハ縣移管ニ係ルモノニシテ建物坪數ノ増加ハ前述ノ外下妻中、鉾田中、石岡農、江戸崎農、結城農、鹿島農、大子農、笠間農、取手園藝、古河商業學校ニ於テ新營アリタルニ依ル建物價額乃至器具價額ニ於テ十八萬五千八百九十五圓増シタルハ前述ノ縣移管及建物ノ新營ヲ主トシテ自然増加ニ依ルモノナリ

市本年度支出總額ハ七十三萬八千七百四十五圓ニシテ前年度ニ比シ四十六萬六千七百九十六圓ノ増加ヲ示セリ、其ノ主タル原因ハ小學校ノ移轉及増改築ニ依ル新營費ノ支出多カリシニ依ル收入總額ハ十萬千二百四圓ニシテ前年度ニ比シ三千三百十圓ヲ増加セリ公學資産ノ土地坪數六百五十四坪増シタルハ小學校ノ移轉ニ依リ建物坪數ノ内教場二十一坪減少セルハ改築ニヨリ其ノ他二千七百五十三坪増加シタルハ主トシテ講堂ヲ新設シタルニ依ル尙基本財産タル現金預金ニ於テ五千九百八十一圓増加セリ

町村本年度支出額ハ六百九萬二千七百六圓ニシテ前年度ニ比シ三十二萬七百四十八圓ノ増加ヲ示シ其ノ主ナル原因ハ新營費ノ増加及教員俸給及其ノ他ノ諸費ノ自然増加ニ依ル、收入總額ハ二百五十五萬六千九百二十圓ニシテ前年度ニ比シ三十二萬千五百五十七圓ノ減少シタルハ國庫補助金及寄附金ノ少ナカリシニ依ル、公學資産ノ内土地坪數、敷地二萬八百七十八坪増加シタルハ高等女學校、實業學校ノ縣移管アリタルニ不拘小學校、高等女學校及實業學校等ノ敷地、實習地ノ擴張ニ依ル建物坪數

ノ教場一萬六百六十九坪其ノ他二千三十四坪増加シタルハ前述ノ移管ニ不拘小學校ノ兒童増加ニ依ル建築ト高等女學校等ノ新營ニ依ル、土地價額乃至器具價額ニ於テ四十七萬九千七百七十一圓増加シタルハ土地購入ト建物ノ新營ヲ主トシ他ハ自然増加ニ依ル、基本財産タル現金預金三萬五千六百七十八圓減少セルハ繰入使用シ有價證券ノ一萬二千四十七圓減少セルハ償還アリタルニ依ル土地ハ坪數ニ於テ六千七百七十二坪ヲ増シ田畑ハ減少シ森林、原野ニ於テ増加セルモ價額ニ於テハ七千七百七十二圓減少セリ、建物ノ坪數價額ハ前年度ト變リナク積立金ハ八千八百二十圓ヲ減少セリ
